

## 第5 学年国語科学習指導案

日 時 平成27年10月26日(月)2校時

場 所 今市っ子図書館

指導者 担任・学校司書

1 単元名 これぞ和の文化！おすすめの「和の文化」を調べて説明会を開こう  
(教材『和の文化を受けつぐー和菓子をさぐる』 中山 圭子 東京書籍 5年 )

### 2 単元の目標

○和の文化について進んで調べてみたい課題を探して読んだり、資料の提示の仕方を工夫して話したりしようとしている。 【国語への関心・意欲・態度】

○事柄が明確に伝わるように、説明の構成を工夫することができる。 【話すこと・聞くこと】

○本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 【読むこと】

○目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むことができる。 【読むこと】

○文章のいろいろな構成について理解することができる。 【言語に関する知識・理解・技能】

### 3 基盤

本教材は、伝統的な文化に関するものの中でも想起しやすい和菓子を題材とした、序論・本論・結論の構成が明確な文章である。また、和菓子を三つの観点から説明するという構成は、その後の調べ学習や発表へとつなげやすい。さらに、写真や図表などの資料が説明に用いられており、発表の際の資料の活用へとつなげることもできる。

本単元では、目的を意識していろいろな本や資料を読み、資料を活用して説明する力を育てることをねらいとしている。そこで「和の文化に関する本や資料を読んで調べ、説明会を開く」という言語活動を位置づけた。調べた和の文化について要約カードにまとめながら説明する活動を取り入れ、感想を交流することで、説明の構成や表現の方法を工夫したり、自分の考えを広げたり深めたりする機会の体験を積むことができると考える。

本時は、調べて要約カードにまとめたことを同じグループの友だちに紹介し合う活動である。同じ文化について調べているグループとすることで、お互いの内容やまとめ方についてアドバイスを言いやすいと考える。また、説明会では一緒に発表するグループでもあるので、説明会のことを意識させ、より意欲的に取り組ませるようにしたい。アドバイスをするときには、付箋にメモを書かせて伝えることで、個人で直す活動をする際の手がかりにできるようにする。

#### 4 本単元と情報リテラシーの関わり

##### ○課題設定

担任による、説明会におけるデモンストレーションを見ることを通して、本単元を貫く言語活動としての『これぞ和の文化！おすすめの「和の文化」を調べて説明会を開こう』を知り、見通しを持たせる。

学校司書による関連図書紹介を通して、和の文化への関心を高め、進んで調べようとする意欲を高める。

##### ○情報収集

教材文の学習を行いながら、和の文化に関する図書の並行読書を行う。

同じ文化について調べたいと考えている児童を三人一組のグループとし、協力して調べたり、まとめたことに対してお互いにアドバイスをしたりできるようにし、考えを深めたり広げたりできるようにする。

調べた情報については、昨年度から取り組んでいる情報カードにまとめ、次の段階である整理分析で生かせるようにする。

##### ○分析整理

情報カードをもとに、まとめて発表したい情報を整理させる。

シンキングツールとしてXチャートを使用し、グループで発表する内容を整理させるようにする。

##### ○まとめる・伝える

教材文の学習でも使用した要約カードを使い、まとめるようにする。また、まとめたことを伝えるときには、要約カードをもとに発表資料を作成し、より分かりやすく印象に残る発表方法を工夫させるようにする。

説明会では、実物投影機を用いて行い、クラス全体に向けて発表するようにする。

#### 5. 学校図書館活用教育との関連

教材名	単元のねらい
動物の体と気候	文章の構成に注意して書かれている内容を読み取り、その要旨を的確にとらえる。
和の文化を受けつぐ	目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら話すこと。 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読み比べて読むこと。
テレビとの付き合い方	例と意見との関係に注意して、筆者の考えを読み取ること。 読み取ったことをもとに、自分の考えを書くこと。

- ・学校司書による本の紹介。
- ・司書教諭によるシンキングツールを（Xチャート）の説明。
- ・図書館を活用しての調べ活動。

6. 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す聞く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・「和の文化」について関心をもち、調べて説明するという目的を意識して文章を読もうとしている。	・課題を解決するために、複数の本や文章を比べて読み、必要な情報を選んでいる。 ・文章だけではなく、図表や写真等の情報を利用するなど、効果的な読み方を工夫している。	・自分の意見と比べたり、説明の構成や資料の使い方に注意したりして聞き、自分の考えをまとめている。	文章のいろいろな構成について理解している。

7. 単元の指導と評価の計画(全13時間)

次	時	目標	学習内容	評価				学校図書館との連携	
				関	話・聞	読	言		評価規準(評価方法)
第一次	1	和の文化に関心をもち、単元の見通しをもつ。	○和の文化の本を読む。 ○「和の文化を受けつぐ」を読む。	○				【関】和の文化について興味をもち、目的を意識して資料を読んだり、学習に取り組んだりしようとしている。(観察)	○
第二次	2 3 4 5	教材文を読み、「和の文化」に対する筆者の考えや、説明の仕方を読み取り、要約する。	○説明の仕方や資料の用いられ方を読み取り、文章構成図に整理したり、要約カードにまとめたりする。 ○文章を読んだ自分の考えや感想、調べたいことを整理する。			○		【読】観点や構成に着目して内容を的確に押さえて要旨をとらえ、自分の考えを明確にしながらかんでいる。 (発言・ノート・ワークシート・要約カード)	

第三次	6	取り上げる	○教科書の文章で読み取ったことをもとに、調べる際の観点や内容などを話し			○	【読】図書資料を選んで必要な情報を取り出し、整理している。	○
	7	題材と調べる	○必要な情報を集めて、カードやメモに書く。			○	【話・聞】事柄が明確に伝わるように、説明の構成を工夫している。(発言・要約カード)、	○
	8	観点を決め、必要な情報を集める。	○シンキングツールの使い方を知る、			○	【読】友だちとの交流を通して、説明する内容について考えを深めたり、広げたりしている。(ワークシート・付箋メモ)	
	9	説明会を開き、調べたことを資料を活用して発表する。	○説明する内容や構成を考え、要約カードにまとめた			○	【言】文章のいろいろな構成について理解している。(発言、カード)	
	10		り、資料を準備したりする。					
	11		○内容や目的に合わせて説明会用の資料の形成を工夫する。					
	12							
	13							

8 本時の学習(第三次 11時間目)

(1)本時の目標

要約カードを互いに説明し合い、自分が説明する内容について考えを深めたり広げたりすることができる。 【読む能力】

(2)本時の学習展開

主な学習活動と予想される児童の反応	○教師の支援(○)と評価(☆)
<p>1. 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>要約カードを説明し合って、自分のテーマを深めよう。</p> </div> <p>2. 要約カードをもとに説明し合う。</p> <p>これまでにまとめた要約カード、資料について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の要約カードを確認する。</li> <li>・要約した内容についてどのような順番で話すのか確認する。</li> </ul> <p>グループの友だちと紹介し合い、意見を交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい内容を加えられるように、調べたことを整理してみよう。</li> <li>・もう少し詳しく説明しよう。</li> </ul>	<p>○教師の支援(○)と評価(☆)</p> <p>○学習の流れを示し、本時の見通しをもてるようにする。</p> <p>○単元の初めに設定した、自分たちの目標についても確認し、本時に対する意欲を高めるようにする。</p> <p>○調べたことをすぐに振り返ることができるように、自分が集めた情報カードや図書資料も準備させておく。</p> <p>○お互いの考えが記録できるように付箋を用いる。</p> <p>○より考えを深めたり、広げたりすることにつながるアドバイスについて付箋に書いて伝えるようにし、個人で直すときに生かすことができるようにする。</p> <p>○友だちとの交流の中で自分の説明に生かしたいこともメモできるように別の付箋を用紙し、使える</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・要約カードに加えてみよう。</li> <li>・これ以上、内容を増やすのはやめよう。</li> </ul> <p>3. 本時の振り返りができるようにワークシートに記入させる。</p> <p>4. 次時の見通しをもたせる。</p>	<p>ようにしておく。</p> <p>○要約カードと付箋を整理して考えを深めることができるようにワークシートを準備し、考えを整理できるようにする。</p> <p>○付箋からどのように深めていくとよいか困っている場合には、優先順位を整理させ、取り組ませるようにする。</p> <p>○おおよそ出来上がっている場合には、別の視点を与えたり、同じグループの友だちのサポートをしたりするように促す。</p> <p>☆付箋メモや友だちからのより分かりやすいものにするためのアドバイスをもとにして、自分が説明する内容について考えを深めたり、広げたり、見直したりすることができる。</p> <p><b>【読】</b>（要約カード・ワークシート）</p> <p>○次時は説明会に向けての準備と練習をすることを伝える。</p>
--	--

(3) 本時の評価

十分満足できると判断される児童の具体例	おおむね満足できると判断される児童の具体例	支援を必要とする児童の指導の手立て
友だちの意見をもとに自分の要約カードで説明する内容についてより深めたり、広げたり、友達に対してより良いものにするためのアドバイスをしたりしている。	友だちの意見をもとに、自分の要約カードを直したり、友だちにアドバイスをしたりしている。	一番伝えたいことを要約カードで支援者と確認しながらまとめる。

(4) 研究の視点

要約カードを用いて発表したことや同じ文化について調べている児童でグループを作って話し合いをしたことは、自分の考えを広げたり深めたりするために有効であったか。